



市民参加で節税？

—— 中学生にわかる
 「しくみ」と「説明」を ——

とよはし
 市民会議の
 考え

12月市議会は「協働」「協創」と分かりにくい言葉が飛び交いました。
 NPO（注①）、PFI（注②）となるとさらに混乱してしまいますね。税金が
 減っても、公共サービスを維持する、いえいえ、この際向上させますと、
 まあ、そんな有難い仕組みが本当にあるのでしょうか。

＜NPOやPFIを進めることに賛成する理由＞

1. 市民が行政の仕事や財政（税の使途）に関心を持つようになる。
2. 市民の期待する行政サービスに、どこまで税負担するのか、選択肢が広がる。
3. 地域の福祉向上のために、みんなで参加（有償あるいは無償の仕事として起業）すれば、市民満足度が高まる。
4. 高齢者、乳幼児、学童、障害児・者、外国籍の、さまざまな支援を必要とする人々と「互助関係」＝「お互いさま」を創ることで、人の住むまちの活気が生れる。
5. 行政は税金を使うので、細かい規則が多く、小回りがきかないが、儲けにならなくても市民にとって必要な事業を継続することができる。一方、企業は、世の中の動きに敏感に対応するが、儲からないと倒産。いくら市民にとって必要でも継続されないことになる。この両者をつなぐ新しい仕組みが機能するには「市民参画」が必要。

要するに、介護保険制度をはじめとして、社会全体で支える仕組みが必要な時代となり、今までのような「お役所仕事」では能率やサービスの点で融通が利かない。その上お金がかかり過ぎる。そこで税金を高く払ってでも、今まで以上の高いサービスを求めるのか、それとも、行政の仕事を「市民が分担する」ことで、税の有効的な使い方に踏み込み、共に責任を持つのか。市民が選択するとします。

ここにきて民間の組織としての「非営利の団体」(NPO=Non Profit Organization) や、「民間資金活用事業」(PFI=Private Finance Initiative) の取組みの必要性が検討されるようになりました。民活の利用・主導により、小さい政府を目指し、効率的で効果的な公共サービスの提供を図ることを目的としながら、サンセク（注③）の二の舞にならないよう、あらゆる角度からの検討が必要です。

12月議会 渡辺則子の一般質問より

知ってる？

「あたらしい憲法のはなし」

～ 60年前、日本中の中学1年生が
 学んだ憲法教科書～

文部省 S22 年発行（復刻版 200 円）
 70 頁 58 g のこの冊子は、第 2 次世界大戦で尊い命を理不尽に奪われた、世界の方々の命の重さそのものです。敗戦後 60 年を迎えた今、イラク派兵、憲法 9 条について考えるきっかけを与えてくれます。インターネット検索で冊子の全文入手可能です。（日本平和委員会発行／童話屋版は 300 円です）

1. ボランティア情報センターの充実を

Q: アンケート等によれば市民活動を希望している市民は 7 割と高い。が、情報・場所・人の集まる機会の提供が十分でない。開設 3 年たったカリオンビル 2 階ボランティア情報センターへの市民意識の変化をどう分析しているのか。

A: 平成 13 年開設時にはほとんど認知されなかったが、市民活動の情報提供も増え、徐々に認識が深まってきたと考える。市民のための施設を念頭にさらに取り組む。

コメント: 「市民活動センター」と位置づけ、社会福祉協議会の福祉系ボランティアとの住み分けを。情報満載の「市民活動ニュース」をもっと市民の手元へ、ホームページの最新情報をアップし、気軽にアクセスできる試みを期待。

2. 子育て支援に必要な経費の算出を

Q: 子育て支援センター（2 箇所）と、社会教育施設で行われている子育て広場における支援単価を比べると、約 2,000 円／人、約 400 円／人と 5 倍の開きがある。（財源が別であり、割り出してその多少を軽々しく論ずるべきではないが…）第 3 の子育て支援センターを家庭館に設置する考えは？

A: 吉田方と東山の保育園では、専用の部屋を確保し、専任の職員を配置して事業を実施。他の公共施設利用は、本来の目的を阻害しない範囲で、さまざまな形での子育て支援の可能性について研究していく。

コメント: 子育て支援の適正価格とは？グループ活動の適正規模は親子 15 組まで。「託児」でも、乳幼児教室でもない、親子が、共に仲間と育ちあう場となるために、どんな支援が必要か。生涯学習の第一ステップと位置づけ、官民の情報の交流、子育て支・互助グループマップ作りの取組みも期待。

注① NPO: '80 年代アメリカで、財政赤字の削減を図るため、公共部門を担い社会を活性化する活動を担った民間団体。「非営利」とは、収入から活動経費を差し引いた残りを分け合わない＝「非分配制約」という制限条件で活動。一般的には、利益を追求せずに公益を担う、非政府の組織をさすことが多い。NPO は行政や企業とも違い、それぞれにミッション（社会的使命）を持って、課題の解決に向け積極的に取り組み、今後の市民活動として、大いに期待されています。

注② PFI: '92 年にイギリスで導入され、日本では'99 年 7 月に PFI 法が成立したのを受けて、民間資金等活用事業推進委員会（PFI 推進委員会）が内閣内政審議室に設置。2000 年 3 月には PFI 法の規定に基づき「民間資金等の活用による公共施設等の整備等に関する事業の実施に関する基本方針」が公布。「豊橋市 PFI 基本指針」（2004 年 3 月／H16）により、豊橋市でも本格的な取組みが始まりました。

注③ サンセク＝「第三セクター」: 行政の「公共性」と民間の「柔軟性」のメリットを生かそうと、行政と民間が共同出資・設立した株式会社や財団法人。成功のためには、黒字可能な公的助成の枠組みや民間的な効率経営が必要なのに、行政の硬直性と民間の自己中心主義が破綻を招くケースもある。第一セクターである「行政」の持つ世間的信用力や公益性効率的、第二セクター「民間」の優れたアイデア・行動力がミックスしての、第三セクターの前途は多難である。



平成15年度「一般会計」決算審査報告

- 皆さんの税金が平成15年度どのように使われたのかを、審査しました。
- 審査の結果が新年度の予算に生かされることを願って質疑しました。
決算議会は9月(企業会計：水道・下水道・病院)と12月(一般会計)。
審査結果を新年度予算に生かすには、出来る限り早い時期の審査が必要です。

審査内容の全体は
市議会会議録の
ホームページに
2月末頃掲載される
予定です。



渡辺 則子(無党派)
とよはし市民会議 代表
所属委員会：環境経済委員会
市政施行100周年記念事業調査
特別委員会

保育園巡りに はまっています！

20年前、10年前、5年前と、今まで計3回、市民団体による保育園調査に参加しました。今回はとよはし市民会議として、市内の保育所の半分に当たる26園へ直接伺いました。「絵本」「わらべ歌」「アレルギー食」「発達障害」「地域子育て支援」の貴重な情報を頂きました。就学前の子ども施設は今、激変期にあります。豊橋の子どもの笑顔のために、春以降も調査を行います。訪問同行・調査結果をご希望の方は、ご一報ください。(TEL：0532-48-1203)

♪わらべうた♪

この子かわいさ 限りなし
天にたとえて 星の数
山じゃ木の数 かやの数
七里ガ浜では 砂の数

恋路が浜と言い換えれば
豊橋のわらべ歌に・・・

とよはし市民会議が取り組んだ質疑の中から



時間不足で質疑できなかった内容も合わせてご報告します。

■高速堆肥化施設 撤去費 6,717万600円

Q:「ユーレックス」(都市と農村を結ぶ循環型ごみ処理パイロット事業施設)のシンボルの施設のリサイクルは？
A:鉄やアルミくず約1,600トンをリサイクル。建屋を利用して、スラグ約2千t(3か月分)貯留可能な440平方メートルのヤードを整備。

■プラスチックごみ 処理施設整備事業費

Q1:プラスチックは焼却への環境省の考えが相次いで報道されたが、本市の考えは？

A1:事業者への「拡大生産者責任」の徹底を図ることによって排出抑制を目指す。汚れたプラスチックは、処理施設の機能を生かす中で熱回収が合理的と考える。

Q2:容器包装リサイクルの本市の負担は？

A2:焼却ごみ量の約3.9%が台所から出た汚れたプラスチックごみ。容器包装リサイクル法によるペットボトル以外のプラスチック処理費は76,000円/t。その9%が中小企業分で、本市が支出した負担金は285万1,292円。

コメント:●つまり水曜日回収プラスチック総量6,694tのうち、6%にあたる417tが資源化(東海市の新日鉄へ)されたこととなります。残り6,277tは埋め立てに。(417×76000×0.9=約285万円)●資源化料金は、その商品を作った側と買った側が負担すること。つまり拡大生産者責任のもとで、リサイクル代を製品に込める(内部化)よう、2006年の法改正を求めていきましょう。●ごみになるプラスチックはできる限り使わないこと！それが節税につながります。

■ファミリーサポートセンター事業 958万1,957円

●ファミリーサポート事業とは
あらかじめ登録した、「育児の援助を依頼したい会員」と、「育児の援助をします会員」の双方のコーディネートをサポートセンターが行い、会員同士が子どもの生活支援を、有料で、一時的に行う組織。仕事と子育ての両立支援となるもので、保育施設の利用時間前後の利用、突発的な場合の時間的な融通がきくことなどで、利用は高い。子どもの預かり中に起きた事故の補償は、ファミリーサポートセンター保障保険に加入し、会員相互が解決することになっています。この事業の実施主体は豊橋市、運営は社会福祉協議会が行なっています。

Q:全体の活動の75%を超えるのが、保育所、学校の登下校の援助依頼。会員となることのできる対象の子どもは？
A:該当はなかった。(平成16年は1件有り。)

コメント:子どもたちの登下校時の「安全」が重要な課題になってきています。ファミリーサポートを中心に、市内の託児関連事業の状況の調査も進むことを期待。

■資源化センター歳入 蒸気と電力の「売り払い収入」について

Q1:蒸気の売り払い収益がゼロとなっているのは？

A1:温室へ蒸気を送る配管等が老朽化し、改良費を出した12軒の農家に対する負担軽減のため、当分の間、蒸気代を徴収しない。

Q2:売電量は稼働初年度に比して、2年目の平成15年は、1/3に激減。平成16年度予算では、さらに減少傾向にあるが、なぜか？

A2:平成15年度は事業所系ごみが増大し、3号炉の稼働日数は2倍増となった。そのため1、2号機で生み出した電力を3号機で使用し、売電分が1/3に減少。

コメント:昭和55年、「ユーレックス」稼働半年後、電気代の補正があった。その理由は電気代が上がったこと、燃やせるごみが不足したこと、職員の訓練のために炉の立ち上げ立ち下げをしたりするので、総額8,500万円の電気代が不足した。現在の経済産業省の計画では、あと3年後に、電力小売の全面自由化が始まる。ガス化炉の安全性・経済性について、いよいよ本格的な議論を始める時と考える。

資料:資源化センター

<ガス化溶融炉 1&2号炉売り払い収入>

	H14	H15	H16(予算)
蒸気:	390万円	360万円	0円
電気:	4,162万円	1,433万8,920円	1,320万円
発電量:	38,616,320kwh	34,306,570kwh	H15年度を上回る状況

<ストーカ炉 3号炉稼働実績>

	H14	H15
稼働日数:	117日	205日
焼却処理量:	18,983t	32,528t
使用電力:	1,583,820kwh	2,363,380kwh

子育て ショートエッセイ

●「豊橋版」がとれる日は？

4ヶ月健診で絵本をプレゼントするブックスタート事業の「豊橋版」は、まず母子保健センターと図書館に絵本と担当司書を配置して基礎ができました。次に市民館へ絵本を設置し、図書館ではボランティアの協働により赤ちゃん絵本広場の開設へと拡大。行政のこうした取り組みを、市民側は、絵本リストの作成、ボランティアの組織、研修会などを通して地道に支え続け、協働のモデルとなっています。市内に図書館、児童館が各1館という豊橋市の公共施設状況の下、豊橋版ブックスタートは、絵本を介して0歳からの図書館利用への道筋を着実に実現させてきました。ひとりひとりに、直接絵本が手渡されるときに、「豊橋版」がとれ、ブックスタート事業展開となります。毎年4,000人の赤ちゃんに1冊の絵本を手渡すには数百万円が必要です。子どもの心を育む絵本を贈る準備に費やした貴重な3年間。市長の決断によって、ブックスタートが本格的に進むことを期待しています。

●子育て支援は多産促進か！

2005年度国家予算少子化対策費は3,832億円。この予算の中には保育所と幼稚園を一体化する「総合施設」のモデル事業が30箇所が含まれています。専業主婦は共稼ぎ家庭より子どもの数が多いこと、また子育てに不安が高いことなどにより「子ども・子育て応援プラン05～09年」の取組みも始まります。子育て支援は「今、目の前にいる子ども支援」が最優先されてこそ、5年、10年、20年の計画が立ち、子育てに希望が持てると思います。「産めよ増やせよ」の視点ではなくて、子育て世代の声をじっくり聞いて欲しい。



ご相談いつでもどうぞ！

～ピンクの屋根の南栄ふれあいセンター～

TEL&FAX: 0532-48-1203
mail: watanabe@toyohashi-noriko.net
URL: http://www.toyohashi-noriko.net/
とよはし市民会議事務所内(渡辺則子)
〒441-8108 豊橋市町畑町森田38-72

◆「て～ぶる」を手にした方々の声◆

発達障害について、学校での支援内容について詳しく知りたい(50代)／障害児の家族が孤立して、どうやって応援してあげられるのかと困っていたところでした(40代)／子ども関連施設に関心があり、直接担当の部署に電話しても、計画の流れに沿っていない意見は生かされないようです。市民には分かりにくい。実際使うことになる、私たち乳幼児を持つ母親が情報はどうしたらゲットできますか(30代)／字が一杯だけれど、大丈夫。読んでいるよ(50代)／一枚の紙の表裏なので、ちよつとの時間に読み切れる感じがいいです(50代)／ファイルして手元に置いてあります(60代)／豊橋の実家に帰ると私のために母がとっておいてくれます(50代)。

◆「ティーズ de 傍聴」に初参加して◆

うちのテレビでも「ティーズ」が見られるようになったので、早速市議会の12月定例会にチャンネルを合わせました。議場で傍聴する時より重々しさや緊張感はいくつ薄れそうですが、質問や答弁の様子は、表情が大きい写る分、熱意や思いが細やかに伝わるように思いました。傍聴できない時には、後から様子を聞くことしかできなかったのですが、これからケールテレビを見ることで、同時に応援できる方法がひとつ増えました。それでも、直接議場で傍聴するのが一番！という気持ちには、変わりはありません。AYOV